

施策3

河川の整備



これまでの取組

国・県に対し野洲川の国直轄化の要望活動を行いました。また、野洲川の浚渫（しゅんせつ）工事は、県が計画的に実施しています。

落合川・大砂川の天井川の平地化を県に要望しており、落合川は平地化が事業化される見通しです。

めざす姿

国・県と連携し、未整備箇所を整備が着実に進み、災害リスクが低減しています。

実施方針

- 国・県への的確な要望活動による一級河川野洲川を整備促進
- 天井川や普通河川の水害未然防止のため適切な改修整備

9. 農林業の復興

施策1

農業の基盤整備と多面的機能の理解促進



これまでの取組

湖南省の農業振興地域においては、区画の整った優良な田園風景が形成されており、世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策をはじめとする農地の有する多面的機能の発揮に向けた取組を推進してきました。

めざす姿

生産基盤の長寿命化、計画的な修繕が行われ、担い手農家による魅力ある農業が展開されています。

農業・農村が有する水災害防止や環境調節などの公益的機能への理解が広がり、優良な農地が保全されています。

実施方針

- 生産基盤の整備および維持管理
- 自然と共生する魅力ある農業の推進
- 地域農業の担い手の育成支援
- 農業の有する多面的機能の維持に関する支援

施策2

多様な農業の推進



これまでの取組

効率的かつ安定的な農業生産と収益性のある経営を進めるため、地域の農業を担う経営体としての農家への農地の集積および集約、集落営農の法人化を推進してきました。

めざす姿

地域農業を担う経営体への農地の集約が進むとともに、生産コストの低減が図られ農業経営の基盤が強化されています。

特産品のブランド力向上や農福連携が進むなど農業の持続可能性が高まっています。

実施方針

- 土地利用調整、優良農地の集積、営農活動の協業化など複合生産体制の確立
- 農業経営体の経営安定および発展支援
- 中間管理事業による担い手への農地利用の集積の推進
- 市内農業関連資源の連携促進と多様な農業ビジネス創出支援

第3章

9. 農林業の復興

施策3

みらい公園湖南の利用促進

2 県産を
ゼロに



11 食み続けられる
まちづくりを



これまでの取組

「ここぴあ」および「H A T」において市内産品の直売や収穫体験事業、各種イベントなどを実施し、市内産品の購入や人と人の交流の機会を創出してきました。

めざす姿

市内農業者による「ここぴあ」の活用機会が増加し、「ここぴあ」を核に市内農業の連携が活発化しています。また、「H A T」での飲食やイベント、体験を通じて湖南市の魅力が地域内外に発信されています。

実施方針

- 体験型農園の活用と市内農業関連資源の連携による地域農業への関心促進
- 市内農業関連資源の連携による特色ある商品の開発支援・情報発信の促進
- 地産地消の推進

施策4

林業の振興

13 気候変動に
具体的な対策を



15 陸の豊かさも
守ろう



これまでの取組

湖南市が管理する林道の補修や復旧などの必要な維持・改修を行って森林環境譲与税を活用し、地域団体や施設森林組合への支援を実施してきました。県や施設森林組合と連携しながら、計画的に間伐・造林を進めてきました。

琵琶湖森林づくりパートナー協定を締結し、企業の従業員などと地元森林所有者が協働で森林整備を進めてきました。

めざす姿

さまざまな形で森林に関心を持ち、関わる市民や企業が増加し、森林資源の有効活用が進んでいます。林道の補修や森林境界の明確化など林業振興の基本的な条件が整い、林業の担い手の確保・育成、森林の集約化が進んでいます。

実施方針

- 林道の適切な維持管理
- 林業の担い手の確保・支援
- 公共施設への地域材の活用および周知
- カーボンニュートラルなどの多角的な林業振興施策の展開
- 放置林対策として森林境界の明確化
- 森林レクリエーションの振興
- 琵琶湖森林づくりパートナー協定の推進

10. 工業の振興

施策1 魅力ある工業の推進



これまでの取組

湖南省の工業は、名神高速道路の開通以来、県下最大級の湖南工業団地を中心に企業が進出し地域経済を支えています。また、湖南省商工会、湖南工業団地協会、湖南省工業会などの各種関係機関との連携のもと、多様化する消費動向に対応したもののづくりを支援してきました。

めざす姿

産学官の幅広い連携のもと、新商品開発・新技術開発・環境対応が進み、競争力のある成長産業が育成されています。

実施方針

- 各種関係機関・各企業との連携強化
- 工業振興支援の充実
- 新たな産業団地などの計画の推進
- 環境マネジメントシステムの認証取得への情報提供と支援
- 環境調和型産業の育成支援
- 景観形成や緑地の確保への支援

施策2 ものづくり産業の人財確保



これまでの取組

栗東湖南 I C や国道 1 号開通による道路網の充実などのポテンシャルに企業の注目が高まっており、新たな産業用地の確保などを進めています。

めざす姿

魅力的な職場、安定した雇用構造が構築され、企業が求める優秀な人財が育成・確保されています。

実施方針

- 人財育成・雇用の確保支援

第3章

11. 商業の振興

施策1 魅力ある商業の推進



これまでの取組

既存の商店街や新規参入した大型店舗など、それぞれ商業形態の特性を踏まえ、湖南省商工会などの関係団体と連携して「こなん商品券」を発行し、地域内循環を図るなど、商業の振興に取り組んできました。

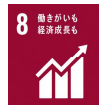
めざす姿

地域、商業者、関係機関との協働により、専門性と個性あふれる魅力ある商業振興を構想・計画し、市民にとって便利で快適な買い物環境が提供されています。

実施方針

- 地域性に応じた土地利用の誘導
- 商業・サービス機能の集積・充実
- 地元商業団体との連携・支援
- 地域商品券や電子マネーポイントなどによる地域振興の推進

施策2 地域特性を生かした賑わいづくり



これまでの取組

小規模事業者への助成金などの申請支援や商店街組織への支援を行ってきました。ふるさと納税制度を活用した販路開拓を推進してきました。

めざす姿

関係者主体による支援体制によって若者のチャレンジや創業しやすい環境が整い、新規参入する事業者が増加し、大型店と共存を図りながら既存商店街が活気づいています。

実施方針

- 地域特性を生かした商店街や沿道まちづくりへの支援
- 小規模事業者持続化および新規創業事業者への支援
- 事業承継、人材育成の支援
- 空き店舗や空き家の商業利用の推進

施策3

買い物弱者対策の推進

9

産業と技術革新の
基盤をつくろう



11

住み続けられる
まちづくりを



これまでの取組

高齢化が進む中、交通手段の確保とともに、身近な地域の商店街の振興を図り、地域の買い物の利便性の確保を図ってきました。

めざす姿

商店街や商業者と連携し、移動販売や移動支援の取組が増え、買い物に関する利便性が確保されています。

実施方針

- 事業者との連携による買い物しやすい環境づくり

第3章

12. 観光の振興

施策1

地域資源を生かした観光・交流の創出



これまでの取組

湖南省には、国宝の建造物を持つ湖南三山をはじめとする数多くの歴史文化遺産や「平松のウツクシマツ自生地」などの自然遺産、各種のイベントや伝統工芸など、多彩な観光資源があります。三大まつりへの参画、インバウンド向けに京都の宿泊施設などに設置する多言語版の観光パンフレットを作成し、誘客を推進してきました。

めざす姿

市民・事業者などが積極的に観光産業に関わり、市内外へ魅力を推奨したくなる仕組みが整うことで、各観光資源などに関わる人が増加し、観光客の滞在時間および観光収入が増加しています。

実施方針

- 市民、地域、関係団体との協働による観光資源の発掘、イベントの推進
- 体験型観光の推進
- 官民連携による宿泊施設の充実
- 観光ボランティアなどの観光資源に関わる人材の育成
- 特産品・地場産品振興の推進
- 伝統工芸の復興支援

施策2

観光情報の一元化・情報発信の促進



これまでの取組

観光協会が主体となり、イベントや四季などに応じた観光パンフレットの作成やホームページ・SNS・観光アプリを通して、情報発信を行ってきました。また、都市圏の情報発信拠点でのパンフレットの設置や特産品販売を行ってきました。

めざす姿

観光情報の情報発信媒体が一元化されており、多様な手法を用いた効果的なシティセールス活動が行われ、観光地としての認知度が広がっています。

実施方針

- 観光情報の一元化
- 公共施設や各団体と連携した地域固有の観光情報発信の強化
- ホームページ・SNS・アプリなどインターネット媒体の積極的な活用
- 外国人観光客受入れのための情報環境の整備
- 市内および都市圏の観光情報の発信拠点の活用
- 市内で開催されるイベントなどの情報発信支援

施策3 観光ルートの整備

9

産業と技術革新の
基盤をつくろう



11

住み続けられる
まちづくりを



これまでの取組

観光協会が主体となり、観光客の受入れ態勢の充実のため、地域や観光協会などとの協働で観光資源の周辺環境の整備を進めてきました。市内全域を観光地としたモデルコースの設定、観光案内看板の整備とともに、ハイキングマップなどを作成し、観光案内施設などに配置してきました。

めざす姿

観光地の動線や世代を意識した見どころなどを分析し、多様な観光客それぞれの目線に合わせた観光ルートが設定され、観光客の満足度が高まっています。

実施方針

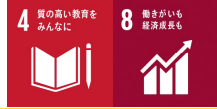
- 十二坊温泉ゆらら、湖南三山を核とした歴史文化遺産をつなぐ観光モデルコースの整備
- 市内3駅を中心とした観光アクセスの充実
- 広域観光の連携体制の強化

第3章

13. 雇用の促進と勤労者福祉の充実

施策1

就労支援・人財確保の推進



これまでの取組

情報サイト「企業ガイド」や情報冊子により、市内のものづくり産業を知る機会を増やすとともに、企業説明会を甲賀市と合同で行い、就職の機会を提供してきました。また、求職者の資格取得支援により就労を推進してきました。

めざす姿

市内の求職者に対する市内の企業情報の提供や合同企業説明会の開催などにより、求職者と求人企業のマッチングが円滑に行われています。

実施方針

- 市内企業の情報発信の支援
- 合同企業説明会の開催
- 企業と教育機関のマッチング支援
- キャリア教育や資格取得の支援

施策2

多様な働き方の推進



これまでの取組

少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少が進む中、働く人がそれぞれの事情に応じた多様な働き方を選択できるよう、ビジネススキルアップの講座の開催や専門機関による研修の情報提供などを通じて、就業につながる支援を実施してきました。

めざす姿

ライフステージに応じた多様な働き方を選択することができ、働き方改革の推進によるワーク・ライフ・バランスが実現しています。

実施方針

- 子育て中の求職活動の支援
- 働き方改革の推進
- テレワークのためのICT環境の整備
- 高齢者や外国人の就労支援、技能の活用
- 障がい者就労情報センターによる支援強化

施策3

勤労者福祉の充実



8 働きがいも
経済成長も



10 人や国の不平等
をなくそう

これまでの取組

勤労者福祉施設を中心に、市民や勤労者の交流を促進するとともに、サークル活動の場所の提供や教養講座などを開催してきました。また、中小企業に対しては、「一般社団法人 甲賀湖南中小企業福利サービスセンター」が福利厚生を支援してきました。

めざす姿

働く人の福利厚生の充実、快適な労働環境が整い、社会参画、青少年の健全な育成、女性の自立および労働生産性の向上につながっています。

実施方針

- 福利厚生事業、労働環境整備の推進

第4章 こどもが主役の、生涯健康で安心に暮らせるまちづくり

～湖南省みらいものがたり Episode 4～

「ここなら安心して子育てができそう」——5年前、拓也（たくや）はそんな期待を胸に、妻の美咲（みさき）と義母の澄江（すみえ）とともに、湖南省へ移り住んできた。

きっかけは、湖南省が「発達支援システムなど福祉の先進地で、地域の人たちが親身になってくれるまち」と評判になっていたから。実際に息子の陽翔（はると）が生まれたとき、産後ケアの保健師さんがまるで家族のように寄り添ってくれたのを、拓也たちは忘れられずにいる。

湖南省では、SNSで「市民笑顔率世界一！」なんて言われるほど評判が広まり、移住してくる家族が増えている。拓也たちも、陽翔を連れて「こなんこども広場」で同年代のママ・パパたちとの交流を楽しんでいる。ここでは月に一度、保健師や栄養士による相談会が開かれ、子育ての悩みを気軽に話せるという安心の場になっている。

澄江も、近所の人に誘われ「まんまる」という地域サロンで、おしゃべりを楽しみ交流の輪を広げている。

ほっとする暮らしをつくろう

—10年後

陽翔は小学5年生になった。助手席に座って窓の景色を見ながら、「ボク、将来建築士になろっかなー!」とキラキラ目を輝かせる。見える建物を指さしながら、「あの建物かっこいい!」と未来への夢を膨らませている。澄江も相変わらず元気いっぱい。「まんまる」で手芸講座を開きながら、仲間との交流をいきがいにしている。拓也も空いた時間を活用して、ボランティア活動に参加するようになった。

拓也も、美咲も、澄江も、陽翔も——だれもが夢を語り、だれかに支えられ、心と時間にゆとりを持って暮らせる。このまちには、そんな温かな“つながり”と、実感できる安心がある。

※この物語は、第三次湖南省総合計画ワークショップの“みんなでつくる将来のまちの姿”をモチーフに描いた物語です。
実在の人物や団体などとは関係ありません。

第4章

1. 子育て環境の充実

施策1

安心できる出産とこどもの成長への支援



これまでの取組

妊婦や産婦・保護者と出会う機会では、相手の話を傾聴し、不安軽減を図り、保護者らとこどもたちが健康に過ごせるよう取り組んできました。

また、妊婦のための支援給付金やこなんママパパ子育て応援クーポン券交付事業で、経済的負担の軽減を図ってきました。

めざす姿

保護者とこどもたちの健康を保持するための支援とともに、こどもが健やかに成長できるよう切れ目のない支援が行われ、乳幼児期から望ましい生活習慣が定着しています。

さまざまな給付金や助成金制度があり、経済的にも安心してこどもを産み育てられるようになっています。

実施方針

- 保護者とこどもたちの健康保持・増進、疾病の予防・早期発見への支援の充実
- 健診など助成制度の充実
- 発達段階に応じた生活習慣の指導・情報提供の推進

施策2

地域の支えあいによる支援の充実



これまでの取組

つどいの広場事業で相談や支援、保護者の情報交換の場を提供し、子育て支援講座も行ってきました。

こども食堂や夏休みのこども居場所事業などの活動を支援してきました。

めざす姿

地域全体で子育てを支える環境が整い、こどもたちが健やかに育ち、子育て家庭が安心して暮らしています。

地域の中に、小学生から高校生まで幅広い年代のこどもや若者の居場所があります。

実施方針

- 子育てを支援する地域の担い手育成やボランティアなどの自主的な活動の支援
- 地域全体での子育て支援機能の強化
- 地域が中心となったこどもの居場所づくりの支援およびこどもの居場所ネットワークの構築
- 地域の自主的な子育て支援活動の交流・連携による子育て応援ネットワークの構築

施策3

保育サービスの充実・就学前教育の充実



これまでの取組

市内の保育士などの資質向上を図るため、保育士キャリアアップ事業や保育士研修を実施してきました。

医療機関と連携して病児・病後児保育室を運営してきました。

めざす姿

園および学校が連携し、こどもの安全と質の高い保育サービスが提供され、保育ニーズの把握や広域連携により、市民の利便性が向上しています。

実施方針

- 質の高い教育・保育サービスの提供
- 園・学校との連携による就学前教育の充実
- 関係機関と連携した病児・病後児保育の推進
- 豊かな心を育む保育の推進
- 施設・設備・遊具の整備および安心・安全な環境整備
- 家庭支援推進保育事業による人権・同和保育の推進
- 教育・保育の一体的な提供のための認定こども園の普及

施策4

学童保育の充実



これまでの取組

小学校区ごとに公設民営、民設民営の学童保育所が設置、運営されてきました。

めざす姿

利用者の多様化したニーズに即して柔軟な運営が行われ、施設の機能強化や指導員の確保・資質向上により、児童が安全かつ安心して過ごせる環境が整っています。

実施方針

- 運営体制の整備や受入れ態勢の充実
- 学校施設などを活用した受け皿の確保・環境整備
- 指導員の指導力・資質向上の推進

第4章

2 教育環境の充実

施策1

「楽しくて力のつく湖南省教育」の実現



これまでの取組

社会の変化、こどもの生活の変容に配慮し、各学校や園で特色ある教育活動を行ってきました。また、「湖南省子どもの学びづくりプロジェクト」の実践により、こどもの学力保障を支えてきました。

家庭学習や自主学習の習慣の確立が必要な児童に対し、放課後に居場所や学ぶ場所を提供するため「らくらく勉強会」を運営してきました。

めざす姿

市内全ての学校で「子どもの学びづくりプロジェクト」が展開され、地域と学校が連携し、放課後の居場所が確保されています。

実施方針

- 発達段階に応じた経験や活動、異年齢間の交流促進
- 健やかな心身と豊かな人間性、生きる力の育成
- 「子どもの学びづくりプロジェクト」の実践
- 教職員の専門性の向上、若手・中堅教員の資質の向上に向けた取組の推進
- 家庭学習支援システムの構築

施策2

教育環境の充実



これまでの取組

バリアフリー化やユニバーサルデザインを推進し、トイレの洋式化など学校施設の機能向上を図ってきました。

1人1台端末の整備と同時に安定的なネットワーク環境の実現に向けて、校内LANを構築するなど、ICT教育の充実に向けた取組を進めてきました。

食育を推進し、園・学校へ安心・安全な給食を提供してきました。

めざす姿

校舎など施設の老朽化対策、安全確保などを実施し、安心して学ぶことができる環境となっています。

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実が図られています。

実施方針

- 安心・安全な施設環境の提供
- 1人1台端末環境の充実
- 食育の推進と安心で栄養バランスの取れた給食の提供支援活動の交流・連携による子育て応援ネットワークの構築

施策3

外国人児童生徒への日本語教育支援の充実



これまでの取組

学校に通訳や母語支援員を配置するとともに、夏季休業中は教職員や通訳、ボランティアと連携して学習支援を行ってきました。

外国人児童生徒の就学・居住実態を把握し、保護者に対し制度やサービスについての適正な情報提供をしてきました。

めざす姿

通訳や母語支援員の配置、支援体制の充実により、外国人児童生徒はきめ細かな支援を受けています。

学校や国際協会などの関係機関が連携することで、外国人児童生徒が学校生活に適応し、日本のこどもたちとともに成長しています。

実施方針

- 日本語教室の充実
- 日本語初期指導教室の有効活用など支援の充実
- 通訳、母語支援員や翻訳機器の配置の充実
- 学習支援や相談の場としての子育て支援事業の充実
- 実態調査の実施による適切な情報提供

施策4

児童生徒への支援・相談体制の充実



これまでの取組

こどもの問題行動や行き渋り・不登校に対して、巡回相談の活用やスクールソーシャルワーカーの配置、湖南市教育相談室との連携などにより、きめ細かに対応してきました。

めざす姿

複雑な要因によって起こる問題行動、虐待件数の増加など、児童生徒のさまざまな問題・課題に対して学校や関係機関による一人一人のケースに応じた適切な支援や相談対応が実施されています。

実施方針

- 一人一人のケースに応じたきめ細かな相談・指導体制の充実
- 巡回相談による早期相談と湖南市教育相談室による相談対応の充実
- スクールソーシャルワーカーの配置による支援の充実
- こども家庭センター、園・学校などでの相談体制の充実、関係機関との連携強化



これまでの取組

小中学校全てに設置している学校運営協議会や地域学校協働本部との連携のもと、家庭や地域の協働と参画による地域の特色を生かした新しい公共型の学校づくりや教育活動に取り組んできました。

めざす姿

学校運営協議会や地域学校協働本部の熟議の質が高まり、協働と参画による地域の特色を生かした教育活動が展開されています。

実施方針

- 学校や園への地域住民の参画による開かれた環境づくり
- 全小中学校へのコミュニティスクール導入に向けた体制の確立
- 学校内・周辺のパトロールなどの強化
- 通報機器や防犯用具などの整備や充実
- 児童生徒への安全教育の充実
- 地域ぐるみの支援体制の推進
- 家庭・地域・学校・関係機関の連携体制による非行防止活動の推進
- 青少年育成団体の活動支援
- SNSなどの情報犯罪防止活動の推進
- 有害図書などの販売の指導

3. 子育て世代、若い世代への支援

施策1

こどもの遊び場の整備



これまでの取組

市民の意向や公園の状況を踏まえ、湖南省公園などストック再編基本計画を策定し、今後の公園の再編方針を示しており、こどもが安全に遊ぶことができる公園・広場の整備を進めてきました。

めざす姿

さまざまな遊びを体験し、保護者同士の交流や相談の場となる遊び場が身近にあります。

天候に左右されず遊びや体験の機会を確保でき、こどもや子育て当事者の目線に立った包摂的な遊び場があります。

実施方針

- 身近な遊び場の確保
- 全天候型遊び場施設の整備

施策2

児童虐待防止への取組の推進



これまでの取組

児童虐待については、湖南省要保護児童対策地域協議会で支援の方向性を確認してきました。毎年11月の児童虐待防止推進月間には広報や街頭啓発を実施してきました。

めざす姿

虐待の予防や早期発見ができるよう、主任児童委員や周辺住民、関係機関の連携による見守り体制が整っています。

実施方針

- 市民への啓発や関係機関との連携による虐待の早期発見の促進
- 育児の孤立化防止のための相談体制や訪問および交流事業による虐待予防の推進
- 虐待をした保護者への指導と、虐待を受けた児童の保護体制の充実
- 周辺住民や関係機関への早期通告の啓発

第4章

3. 子育て世代、若い世代への支援

施策3

経済的負担の軽減とひとり親家庭への支援



これまでの取組

経済的に困窮する子育て世帯に対して、就学援助費の支給や奨学資金を給付し、ひとり親家庭に対しては、経済的な支援と就業支援とともに相談・情報提供体制を整えてきました。

めざす姿

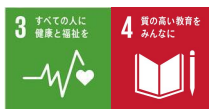
学校をはじめ関係機関と連携することで、必要な人に支援が届き、ひとり親家庭の経済的負担の解消に向けて、自立に向けた支援など多方面からサポートしています。

実施方針

- 保育・教育・医療などの助成制度の充実
- 教育の助成制度の充実
- 個別の事情に配慮した支援の充実・強化

4. 発達支援システム・特別支援教育の推進

施策1 発達支援システムの充実



これまでの取組

支援の必要な人に対し乳幼児期から学齢期、就労期まで、保健・福祉・医療・教育および就労の関係機関が連携して支援を行う「湖南省発達支援システム」により、継続的な支援を推進してきました。

巡回相談員が保幼こども園と小中学校に出向き、保育・授業を参観し、障がいのあるこどもへの適切な配慮や支援についての相談・検討・研修を行ってきました。

めざす姿

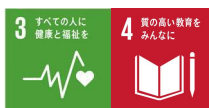
保護者などが発達障がいの特性を理解し、必要な知識や方法を身に付け、適切な対応ができる支援体制が充実しています。

自立した生活に向けた支援が必要なケースにも対応できるよう「発達支援システム」が充実しています。

実施方針

- 研修機会の充実による教職員・保育士などの発達特性への理解促進と資質向上
- 家庭・校園・児童発達支援センター・こども家庭総合センターなど関係機関との連携強化
- 発達障がいに対する正しい理解の啓発と研修の実施、湖南省発達支援システムの普及

施策2 特別支援教育の推進



これまでの取組

「湖南省発達支援システム」の一環として特別支援教育の推進体制を強化しつつ、個別ケースへの対応や教育的ニーズの把握、個別の指導計画や個別の教育支援計画の作成・実践・評価をもとに支援を行ってきました。

めざす姿

サービス調整会議や個別ケース会議、ITネットワーク「KIDS」の活用などにより関係機関との連携を強化し、不登校の未然防止や合理的配慮の視点に立った個別の指導計画・個別の教育支援計画の作成・活用の充実を図っています。

実施方針

- 関係機関との連携による「湖南省発達支援システム」を活用した効果的・継続的な支援
- 専門家による巡回相談の活用と職員研修の充実
- 湖南省教育相談室やことばの教室における取組の充実
- 関係機関や学校・園との連携による就学支援の充実
- 包摂的な教育システムの構築

第4章

4. 発達支援システム・特別支援教育の推進

施策3

多様な居場所・学びの場の確保



これまでの取組

こどもたちの放課後の居場所として「放課後等デイサービス」の運営により、学校教育と相まって障がいのあるこどもの自立を促進してきました。また、放課後や休日の居場所のひとつとして、日中一時支援事業も行ってきました。

めざす姿

こどもにとって安心して過ごすことのできる居場所、学ぶことのできる場所が確保されています。

実施方針

- 安心して過ごすことのできる居場所づくり

5. 高齢者福祉の充実

施策1 地域ネットワーク体制の確立



これまでの取組

いつまでも住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域の見守りや支援ができる地域体制の整備、支えあいを推進してきました。また、重層的支援体制の整備にも取り組んできました。

めざす姿

高齢者の見守りや支援ができる地域のネットワーク体制が整っています。

実施方針

- 地域包括ケアシステムの構築の推進
- 市民・地域・行政の協働による見守りや支援ができる地域体制の整備
- 高齢者の権利擁護や虐待防止ネットワークの構築

施策2 生きがい支援の充実



これまでの取組

高齢者が孤立することなく、身近なところで気軽に集い、交流できる自主活動支援や各種教室などを実施してきました。

めざす姿

高齢者の社会参加が、社会活動のステージごとに途切れることなく継続しています。また、世代間交流が活発化し、相互理解、人格形成や生きがいなどが創出されています。

実施方針

- 生きがいづくりの輪を広げる地域福祉の推進
- 高齢者や多世代が参加しやすい事業の促進
- 高齢者の経験・得意分野を生かし活躍できる地域づくりの推進
- 地域リーダーの育成の推進

第4章

5. 高齢者福祉の充実

施策3

介護予防の推進



これまでの取組

運動の場だけでなくコミュニケーションや地域参画として重要な場である安心応援ハウスなど、身近な地域での交流活動に取り組んできました。

めざす姿

介護予防の取組が検証され、圏域ごとにより効果的な介護予防の推進や自立支援のための体制が整っています。また、地域ボランティアなどを活用した高齢者福祉事業が充実しています。

実施方針

- フレイル予防などの早期対応も含めた健康講座などによる啓発活動の推進
- 地域包括支援センターの体制強化
- 高齢者が継続的に取り組むための手軽で身近な介護予防事業の充実
- 生活支援を必要とする高齢者や介護者に対するサービスの整備
- 予防給付などによる要支援者の生活機能向上

施策4

介護サービスの充実



これまでの取組

住み慣れた地域での生活を継続できるよう湖南市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき、多様なニーズに合った介護サービスを提供してきました。

めざす姿

認知症高齢者を地域で支えるために、市民の認知症への正しい理解が進んでいます。また、介護サービスの充実のため、地域密着型サービスなどの介護サービス、住民主体のサービスの充足や担い手の確保が進んでいます。

実施方針

- 多様なニーズに合った介護サービスの充実
- 介護支援専門員の資質の向上などケアマネジメントの強化
- 介護サービス事業所の質の向上、評価システムの充実
- 認知症の相談サービス・啓発活動・交流の場の充実
- 地域全体で認知症への理解を深めていく取組の強化

6. 障がいのある人への生活支援サービスの充実

施策1 生活支援サービスの充実



これまでの取組

不足している計画相談事業所の確保のため、共同型で事業を行う計画相談事業所の指定を進めてきました。基幹相談支援センターとの連携による計画相談員の研修会を実施し、資質向上を図ってきました。関係機関との連携の上、必要なサービス提供を行ってきました。

重度障がいのある人、医療的ケアが必要な人には、より必要な支援が届くように努めてきました。

めざす姿

サービス提供事業所が増え、地域で多様な暮らし方ができる支援体制が整い、質の高いサービスが提供されています。

必要な支援をアセスメントするための地域生活支援拠点など事業（体験の場確保事業）の利用が進んでいます。

実施方針

- 個別支援計画に基づく適正なサービスの提供
- グループホーム設置などに対する地域の理解促進と住まいの場の確保
- 高齢障がい者、重度心身障がい者の日中活動場所（通所事業）の確保、充実
- 多様な事態に対応できるサービス提供体制の構築

施策2 安心して移動ができるまちづくり



これまでの取組

地域まちづくり協議会などにおいて、高齢者の移動手段として、住民が担い手となった移動支援が取り組まれてきました。障がい福祉サービスとして、移動支援サービスの提供を行いました。

めざす姿

外出機会、外出場所、移動手段などさまざまな場面に応じた取組を官民協働で実施し、「移動」に対する不安を解消しています。

ボランティアスタッフ、NPOなどの新たな人財・事業所、制度などにより、定期的な外出ニーズに対応しています。

実施方針

- 移動支援事業のサービス内容や新規事業所への参入条件の拡充・支援
- 福祉有償運送サービス事業の利用促進
- 地域に根付いた障がいのある人の移動支援の充実